

ダンボールクリエイター

# 萩本たこ

HAGIMOTO, Tako

## Portfolio



Taq al a geema creatures



## "Taq a la geema" について

タク・ア・ラ・ジーマ

2023年秋から、ダンボールのうねうねに魅せられ、「タク・ア・ラ・ジーマの住人たち」というシリーズで、おかしい生き物たちの制作をしています。

「タク・ア・ラ・ジーマ」は、虫や動物、植物、微生物などと、物語が混ざり合う、萩本たこの中にある架空の島です。

どこかにいそうで、どこにもいない生き物たちを、本物の地球上の生き物の生態や進化を手がかりに創造しています。

ダンボールの持つタフさと、金属的な不思議な質感の、ちょっと不気味な、でもかわいい生き物たちです。

彼らが作り出す世界観を楽しんでもらえたら最高です。

萩本たこ

※「タク・ア・ラ・ジーマ」は「たから島」をちょっとかっこよさげに発音してみた造語です。





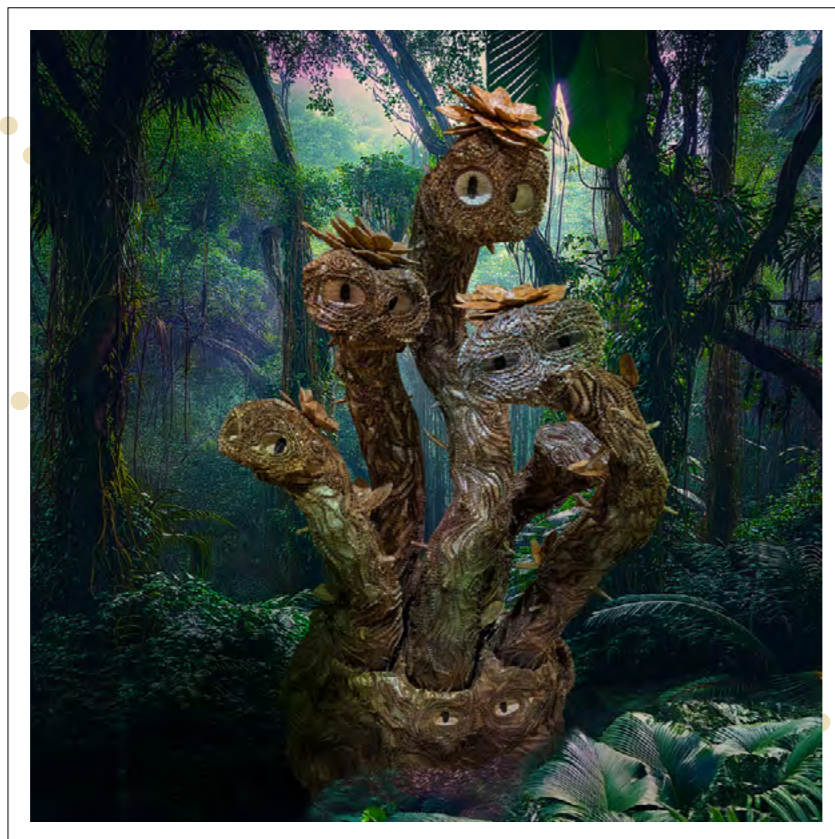
2026.4  
ユレボクホヤ



a. 29 × 22 × 50 cm ・ b. 23 × 34 × 40 cm ・ c. 30 × 21 × 43 cm  
ダンボール、コンクリート・粘土（底の重り）、アクリル、ニス

**生き物解説**

海に住む「ホヤ」の仲間が陸に上がって進化した生物。卵の時は海を漂っているが、海岸の岩などに着床すると一生そこから動かずに成長する。  
ネバネバの触手で小さな虫などを捉えて食べる。



2025.10  
マネマネの木



162 × 105 × 90 cm  
ダンボール、板（底の重り）、アクリル、ニス

**生き物解説**

森の奥深くに生息する変幻自在の植物。目の前に現れた生き物の本質（本性）を真似て顔や姿を作り出す。真似るのは、餌を取る為とも、身を守る為ともいわれているが、食虫植物ではないと思われる。



2025.7  
阿吽のウミウシ



阿：42×58×56 cm ・ 吽：44×49×58 cm  
ダンボール、アクリル、ニス

**生き物解説**

元々は海で暮らしていたウミウシが、陸に上がり、陸上生活に適応するうちに進化して、巨大化したと考えられている。森と海の境界付近で、藻や苔を食べて暮らしている。



2024.12 ~ 2025.3

ミルミル



1号：15×17×23 cm ・ 2号：11×12×24 cm ・ 3号：21×16×18 cm  
4号：16×15×13 cm ・ 5号：10×8×14 cm  
ダンボール、アクリル、ニス

**生き物解説**

木に成り、熟すと落ち、居心地のいい場所を探して自ら移動する生き物。強い共感力(テレパシー)を持っていて仲間同士で交信するが、違う生き物の心は理解できない。



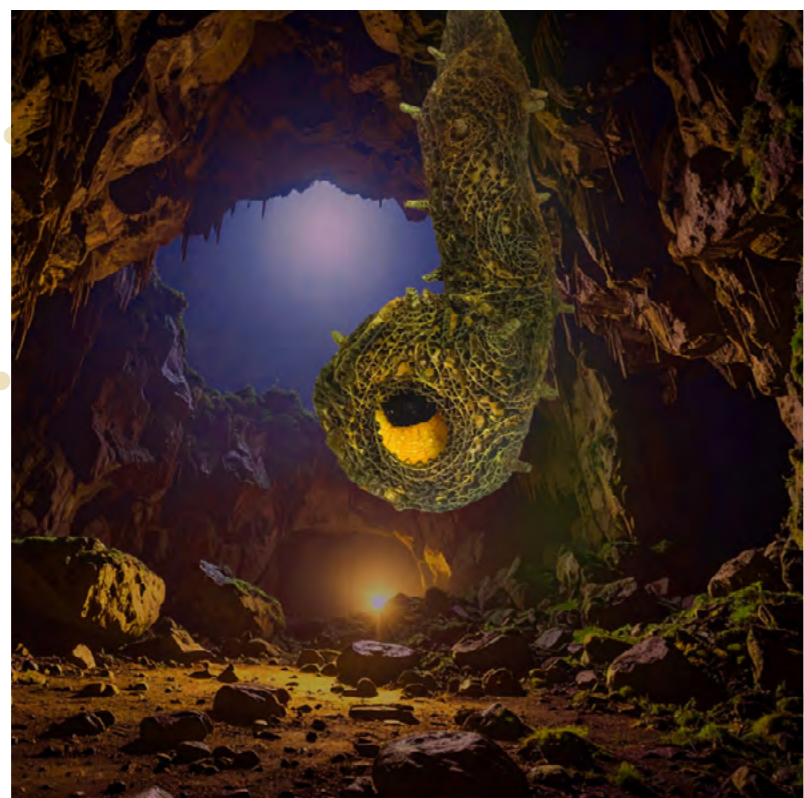
2025.3  
ハルザメ



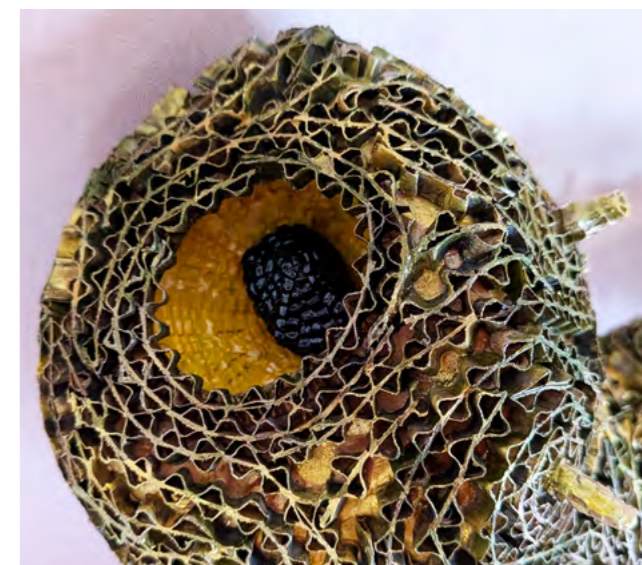
27 × 34 × 13 cm  
ダンボール、アクリル、ニス

**生き物解説**

森の中を這うように進むアメーバーのような生き物。背中にいろんな植物を生やして森を歩きまわるので、植物が生息域を広げるのに役立っている。



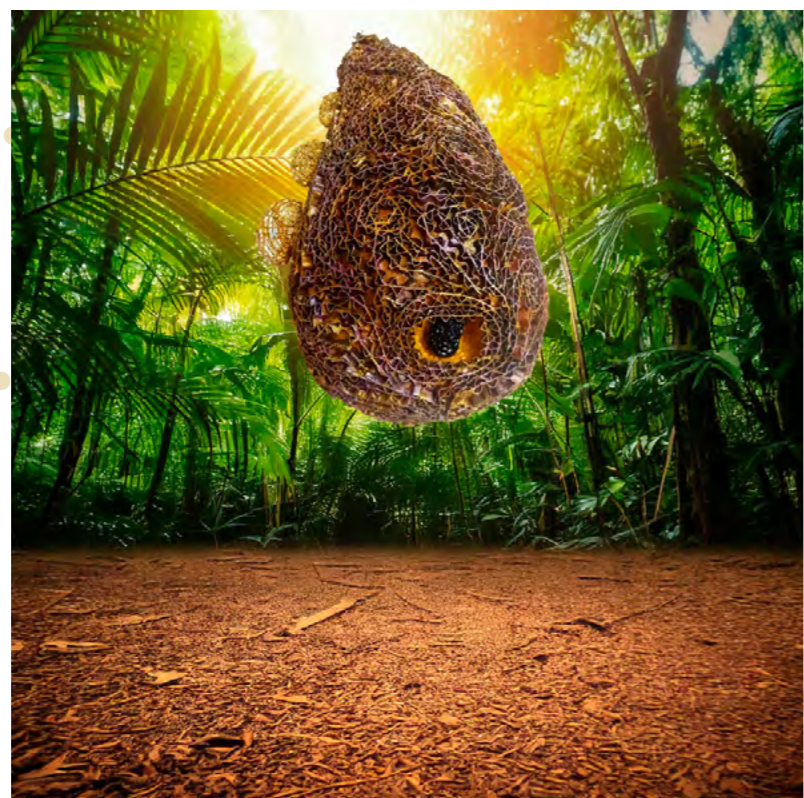
2025.3  
モイモイ



6 × 14 × 11 cm  
ダンボール、アクリル、ニス、吊り下げ用フック

**生き物解説**

洞窟の中に住んでいて、刺激を受けるとゆらゆらと体を揺らす。  
洞窟の小さな虫などを食べていると思われる。体全体に生えている小さなトゲトゲで、地面を歩くこともできる。



2025.3  
マルハネバチ



15 × 13 × 26 cm  
ダンボール、アクリル、ニス、吊り下げ用フック

**生き物解説**

小さなハネでふわふわ飛ぶ。警戒感があまりなく、側を通る生き物にすぐ寄っていく性質がある。花の蜜や花粉を食べていると思われる。



2025.3  
ルクピリ



a : 9×10×18 cm ・ b : 9×11×19 cm  
ダンボール、アクリル、ニス、吊り下げ用フック

**生き物解説**

夜になるとふわふわと飛んで光る妖精の子。  
水辺に住んでいるので、この光を目指して水を探せる。



2024.11

## ゾウハナヒャクメモドキ



69 × 19 × 39 cm  
ダンボール、アクリル、ニス

### 生き物解説

擬態の目がたくさんついている巨大なイモムシ。本物の目は先っぽにある黒い小さいもの。成長すると何になるのかは不明。



2024.10  
キハダカメトカゲ



55 × 42 × 16 cm  
ダンボール、アクリル、ニス

**生き物解説**

金色の甲羅を持つトカゲの仲間。木の幹に止まるとキラキラした甲羅が保護色になって、木と見分けが付きにくい。小さな昆虫などを狙うが、獲物に近づいた時に尻尾をむやみに振ってしまうので、獲物の捕獲率は低い。



2024.5

## ハイホー茸



45 × 25 × 30 cm  
ダンボール、アクリル、ニス

### 生き物解説

薄暗い森の中で繁殖するきのこの仲間。誰かがそばを通ると「ハイホー ハイホー」と歌う習性を持つ。衝撃と日光の光に弱く、すぐ溶けて消えてしまうが、消える時に大量の胞子を飛ばすので、運良く条件に合うと大発生する。



2024.3

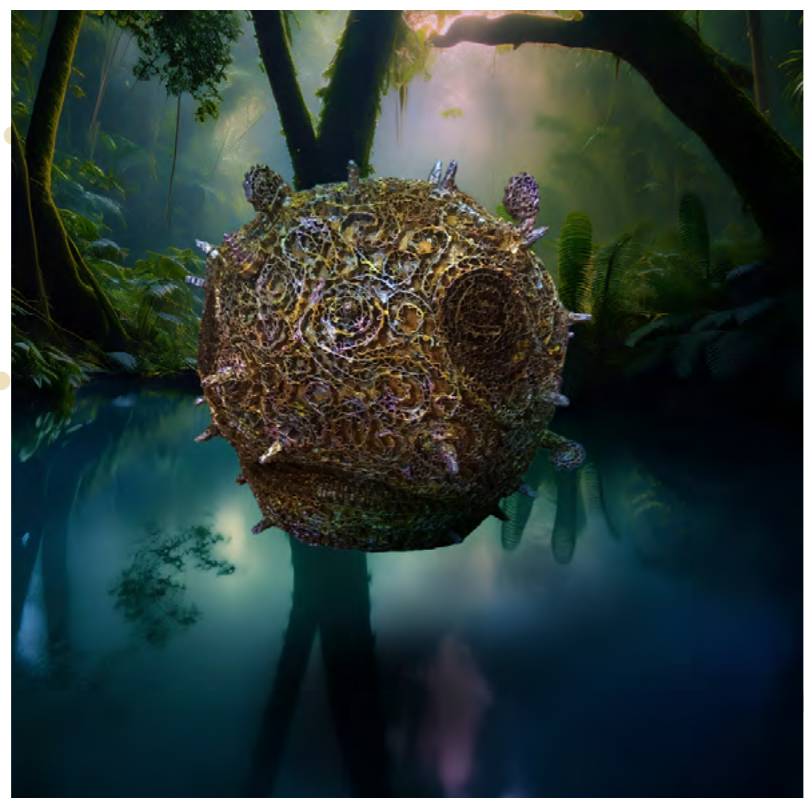
## マオマオの精霊



25 × 28 × 33 cm  
ダンボール、アクリル、ニス

### 生き物解説

マオマオの木に住んでいる精霊。丸い体に鳥の足がついている。  
気まぐれで、機嫌がいいと、木の上で鼻歌を歌うことがある。マオマオの木の実が好物。時々食べすぎると、酔っ払って木から落ちる。



2024.1

## ケンジャンノイトコ



32 × 26 × 24 cm  
ダンボール、アクリル、ニス

### 生き物解説

「タマギンリュウ」という魚の一種だと言われている。  
風貌が賢者っぽい事から通称「ケンジャンノイトコ（賢者のいところ）」と呼ばれるが、特に賢者っぽい事はしない。キラキラしたとてもきれいな色をしている。



2023.12  
ガオガオのこども



40 × 20 × 25.5 cm  
ダンボール、アクリル、ニス

**生き物解説**

虹色の羽を持つ種族のこどもと言われている。  
性質はおとなしくおっとりしているが、まれに危険を感じたり興奮したりすると、体の突起物から強力な電磁波を発生する時がある。

## 制作プロセス

ざっくりと、こんな感じで作っています。

1. ダンボールで骨組みを作る



2. 骨組みにハートを入れる



3. 目や手、トゲなど、必要な部品を作る



4. 骨組みの上に、ダンボールを剥がした紙、  
またはクラフト紙を貼り付け、形を整える



5. ダンボールを剥がして片面ダンボールにした後、張り合わせ、  
両面ダンボール状態の板を作る



6. 5を細く切り、紐上のウネウネを作る



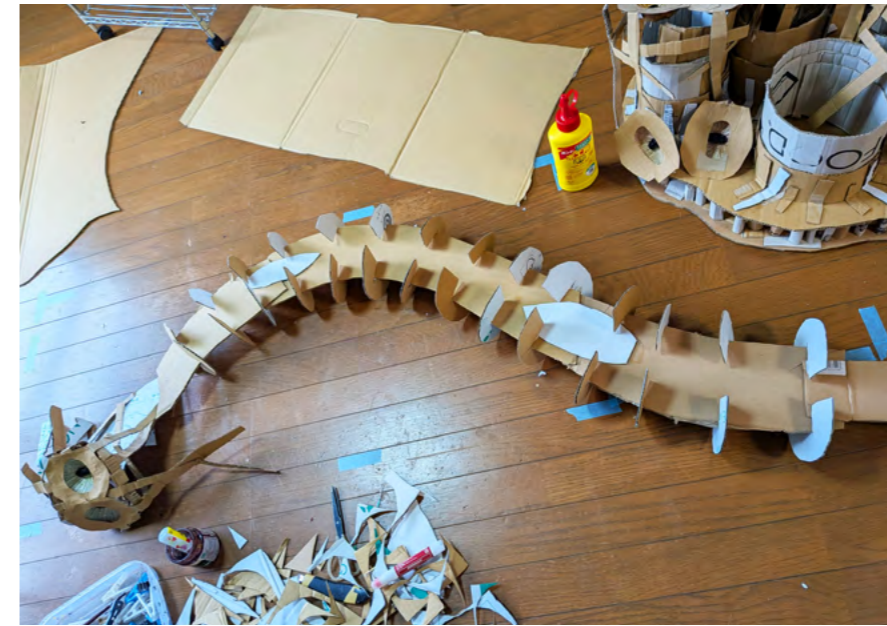
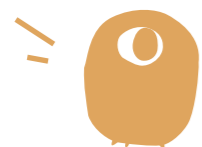
7. 4の上に部品や6のウネウネを貼り付ける



8. ニスやアクリル絵の具で強度や風合いを整える



9. 完成



骨組みを作る。



全ての作品にはハートが入っています。



目や手など、必要な部品は別に作ります。



張子の虎のように、全体をきれいに整えます。



両面ダンボールにした板を、イカソーメンのように細い紐上に切ります。



うねうねを植物のツタのように、全体に貼り付けていきます。

# 萩本たこ

HAGIMOTO, Tako プロフィール

- 滋賀県大津市在住
- ダンボールクリエイター  
デザインひとつひとつ主宰 (グラフィック & WEB デザイン)

子どもの頃から生き物に興味があり、同時に漫画やアニメ、小説などの物語の世界も好きで、多くの作品に影響を受けました。

1996年にデザイナーとして独立し、長くクライアントの想いをかたちにする仕事に携わっています。2019年頃から、自分の表現を求めるようになり、絵画制作を開始。2023年秋にはダンボールを素材に想像上の生き物をかたちにする事に面白さを発見し、現在「タク・ア・ラ・ジーマの住人たち」というシリーズで、多くのユニークな生き物を制作しています。



WEB サイト  
<https://dan.takoart.jp/>



インスタグラム  
tako.dandan

✉ [hitotu2@gmail.com](mailto:hitotu2@gmail.com)



## 略 歴

1996.01 フリーランスデザイナーとして独立  
デザインひとつひとつ 主宰

## ダンボールアート

- 2023.11 ダンボールアート制作を始める
- 2024.06 「ハイホー茸」第74回 大津市美術展覧会 NHK 大津放送局賞 (大津市歴史博物館)
- 2024.12 「全部見えてるゾロゾロ ゾウハナヒャクメモドキ」  
第78回 滋賀県美術展覧会 入選 (滋賀県立美術館)
- 2025.03 個展「たからの島の住人展」(ギャラリー be-kyoto)
- 2025.06 「キハダカメトカゲ」第75回 大津市美術展覧会 市展賞 (大津市歴史博物館)
- 2025.07 「阿(あ)のうし・畔(うん)のうし」ドリル展 グループ展 (銀座アートホール)
- 2025.10 「マネマネの木」jigazou5 (自画像展) グループ展 (イグ\_エム\_アート)
- 2025.11 「阿畔のウミウシ」  
第33回 特種東海製紙紙わざ大賞 一般審査員賞 (特種東海製紙 Pam)
- 2026.03 「マネマネの木」2026・ZERO 展 堺市長賞 (大阪市立美術館)
- 2026.04 「ユレボクホヤ」立体展 グループ展 (茶吉庵)

## その他の略歴

### イラスト

- 2012.11 個展 「内と外とそのまんま (森の Be-Cafe ギャラリー)
- 2014.02 個展 「飾りたくなるへんないきもの♪」(森の Be-Cafe ギャラリー)

### 絵 画

- 2020.04 「不器用な君のすすみかた」京都二紀展 研究生賞 (京都市京セラ美術館)
- 2021.04 「“発見” はある日突然やってくる」京都二紀展 奨励賞 (京都府立文化芸術会館)
- 2022.11 「外へ！」第75回 二紀展 (東京) 入選 (国立新美術館)
- 2023.11 「決めているのに迷うふりカエル」第76回 二紀展 (東京) 入選 (国立新美術館)

他



**HAGIMOTO, Tako**  
**Taq a la geema creatures**

2026.5.9 版